

I 総 説

第 1 部 宮崎県の概況

第 1 章 環境にかかわる県の概況

1 地勢・気候

本県は、九州の南東部に位置し、東は太平洋に面しています。

総面積は約7,735km²で国土の約2%に当たり、全国14番目の広さですが、山岳地帯が多く、これらを水源に五ヶ瀬川、耳川、小丸川、一ツ瀬川、大淀川などの河川が太平洋にそそぎ、豊富な水資源をもたらしています。

気候は、平成27年の快晴日数は53日で全国第2位となっています。また、昭和56年から平成22年まで30年間の平年値では、快晴日数53日、降水量2,509mmが全国第2位となっており、日照時間2,116時間、平均気温17.4℃が第3位となっています。

2 人口・世帯数

平成27年国勢調査によると、平成27年10月1日現在の本県の人口は、

1,104,069人（男519,242人、女584,827人）です。

昭和45年以降の本県人口の推移を国勢調査年次毎にみると、60年まで増加を続け、特に50年から55年にかけて大きな増加を示しました。その後、緩やかに増減を繰り返しましたが、平成7年以降、減少傾向にあります。

今回の結果を前回（平成22年）と比較すると2.7%（31,164人）の減少となりました。

一方、平成27年10月1日現在の本県の世帯数は、462,858世帯です。今回の結果を前回（平成22年）と比較すると0.5%（2,353世帯）の増加となりました。



注：国勢調査年次10月1日現在の数値

3 産 業

本県の産業構造をみると、就業者数、総生産額とも第3次産業の割合が高いものの、全国的には、産業全体に占める第1次産業の割合が高い県となっています。

産業別県内総生産の比較（平成26年度）

産 業	県内総生産額（億円）	割合（%）
第1次産業	1,584	4.3
第2次産業	8,186	22.5
第3次産業	26,227	72.0

（注）輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、構成比の合計は100%にはなりません。

4 土地利用

本県の土地利用区分は、次表のとおり、森林が県土の約76%を占め、次いで農地が約9%となっています。

土地利用の推移についてみると、農地が減少傾向にある一方で、道路・宅地等が増加しています。

県土の利用区分別面積（基準日：10月1日）

（単位：ha、%）

区 分	24年	25年	26年	27年	
	面積	面積	面積	面積	構成比
農 地	68,900	68,500	68,300	67,900	8.8
森 林	588,590	589,600	586,400	585,872	75.7
原 野 等	1,832	1,767	1,734	2,052	0.3
水面・河川・水路	22,736	22,739	22,734	22,648	2.9
道 路	25,393	25,784	25,901	25,925	3.4
宅 地	26,703	26,926	27,090	27,219	3.5
（住 宅 地）	17,129	17,296	17,397	17,545	（ 2.3）
（工 業 用 地）	1,258	1,224	1,276	1,296	（ 0.2）
（その他の宅地）	8,316	8,406	8,406	8,378	（ 1.1）
そ の 他	39,445	38,283	41,440	41,915	5.4
合 計	773,599	773,599	773,599	773,531	100.0

5 道路交通

本県の県内道路網は、高速自動車国道3路線、一般国道19路線（直轄分3路線、県管理分16路線）、主要地方道48路線、一般県道145路線、市町村道34,091路線の総計34,306路線に及び、これらの実延長は20,158kmです。

6 エネルギー

県内の電力需給状況は、発生電力量が消費電力量の半分程度となっている状態が続いていますが、平成24年7月に開始された固定価格買取制度によって、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入が進んでいます。